

大濠人

2004-38

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
同窓会事務局 / TEL・FAX 092-714-1681
発行人 安藤文六
編集人 平島文憲
<印刷> 福博総合印刷株式会社

五十周年 さらに飛躍を



大濠高等学校 同窓会会長
安藤 文六

昨年5月の「五十周年同窓会総会」の折には、
たくさんの方々に参加していただきありがとうございました。
「ごさいました」。

五十年という一つの節目を記念総会とし、講談
師の神田紅女史をお招きし、記念講演会を開催
いたしました。この総会に集まっていた皆さんの
力を、これからの同窓会飛躍のエネルギーとし
大事にしていきたいと思っております。

四月には、統一地方選挙が行なわれました。県
会議員・市町村議員に同窓生が、多数立候補いた
しました。そして素晴らしい結果が出ました。こ
れは、候補者の日ごろの努力の成果だと思いま
すが、同窓会として、今後、力強く応援してい
きたいと考えます。

十月に行なわれた衆議院議員選挙では、第30
回卒業生の市村浩郎氏が、兵庫六区から立候補
し、みごと当選を果しました。市村氏の場合は、
母校から遠く離れた神戸という地で、選挙戦を
闘ったわけです。大変なところと推察いたします。
そのなかで、関西支部の皆さんが、総力を上げて
奮闘されたらうと思っております。関西支部の皆さん
お疲れ様でした。市村さんご苦労様でした。今後
のご活躍を心より祈念いたします。

同窓会では、「特別会員」を募り、その会費より、
母校の運動部・文化部の生徒に経済的応援を行

なっています。来年度も、各クラブを色々な形で支
援することが決定し、その準備を着々とすすめて
います。各部の顧問も、同窓会の応援に大変感謝
され、期待にこたえる結果を出すことを頑張ってお
られます。

特別会員制度は、一年間に10万円の会費を負
担していただき在校生を応援するものです。でき
るだけ、たくさんの方々の在校生を応援したいと思
います。皆さんの協力を、切にお願いいたします。

最近、住所を移転された方の新住所が、はつき

今年度の我が大濠高校体育部はまたも大
活躍！その活躍を追うだけで我々同窓会タ
員を十二分に楽しませてくれた。バスケット
部は、インターハイ、ウィンターカップで準
優勝し、大濠中心の県選抜チームで出場した
団体では見事強豪能代工業高校の秋田県を
破り優勝。二年生もすでにレギュラーメンバ
ー入りしている者が多く、来期以降もバスケ
ット部の活躍には目が離せない。

その他、吉報も続々入ってきている。もうす
ぐ春の選抜大会の時期であるが、バドミント
ン部、柔道部、剣道部などがすでに全国大会へ
の切符を手に入れている。なかでも柔道部は十
月に行なわれた九州新人大会において団体戦
で優勝。全国大会を二月に行われた県選
手権大会団体決勝では、地区大会決勝で惜敗
した福工大城東相手に2人残して雪辱を果
たした。夏に行われた金鷲旗でのベスト8入
りしたメンバーもほとんど残っており、全国で
はそれ以上の結果を期待している。個人戦
では、兄一人が大濠柔道部で全国大会に出場
した坂本三兄弟の末の弟、坂本篤志くんが県
大会無差別級で優勝。全国では兄を上回るべ
く練習に励んでいる。剣道部は新人戦県大会
で優勝を飾り九州大会、全国選抜大会出場が
決定。久しぶりの全国へ向け実力をつけてい
る。バドミントン部は新人戦県大会で九州大
付に惜しくも敗れ準優勝。しかし、九州大会
では県大会での雪辱を果たし、九州大付を破
つての九州準優勝で全国大会出場権を手に入
れた。また、個人戦ダブルスでも同様に全国
行きが決まっている。バレーボール部は新人

一気に全国、大濠魂

バスケット・バレー・柔道・
剣道・バドミントン

バスケット部総体に続きウィンターカップも準V

準決勝残り7秒 奇跡



【洛南・福岡大大選 試合終了間際、逆転の
シュートを決める福岡大大濠堤

戦県大会 九州大会で優勝を果たした。そし
て春の高校バレー全国大会出場も決定し、マ
スコミを賑わせている。
それ以外にも、軟式野球部は秋季九州大会
で準優勝。弓道部は新人戦の県大会決勝まで
進出している。サッカー部は新人戦で県大会
準決勝まで進み、九州大会への望みをつないで
いる。かくなるうえは硬式野球部の甲子園、
駅伝部の都大路での活躍を同窓会員一同期
待しているところである。
また、文化部の活躍も忘れてはならない。
吹奏楽部は全国大会において銀賞を受賞。放
送部も全国大会出場を果たし、弁論部も全国
大会出場がすでに決定している。
文字通り、元氣ある男子進学校を象徴す
るような福大大濠の活躍振りには、我々同窓会
員をますます楽しませてくれている。そして
さらに全国へ福大大濠の名を轟かせてくれる
に違いない。この元氣に負けないよう我々も
更なる飛躍を目指し、また、福大大濠応援団
の員として全面的な支援を行っていきたく
と思つて、頑張れ大濠健児！

りしない状況が増えていきます。住所変更があつた
時は、同窓会事務局へご連絡ください。同窓会名
簿を常に整備し、同窓会活動が円滑にできるよ
うにします。
また、年会費のお振込みの方も、よろしくお願
い致します。活動を充実させるためには、経費が
必要です。皆さまのご協力により、同窓会活動を
充実発展させていきたいと思っております。

「私学は切磋琢磨の時代へ」

校長 家宇治 輝太朗



今年の福岡地区私立高校の入試制度は、前期試験、後期試験に分かれた試験でした。2回受験できるかの印象を与えましたが、実は、「前期合格すると、後期受験できない」という但し書きがありました。各私立高校は、前期で定員の何倍も合格させるため、事実上、一校受験でした。私立高校が「一校しか受験できない」となる、私立は必ず合格する高校をめざすこととなります。私立高校に不合格となると、中学浪人は生活指導上の問題から、絶対避けなければならぬからです。そうなると、ランクを下げた公立受験となり、不本意な公立高入学となり、不登校や中退の遠因となります。そこでは、常に公

立優先の思想があります。私の授業料の格差がある現状ではその傾向は益々拡大します。これは東京、大阪等の大都市と違う官尊民卑思想の強い九州特有の風土が感じられます。私立高校の入試が、「一校合格方式」であるならば、私立高校選びは、「入りたい学校」よりも、「入れる学校」への選択が強くなります。これに対して、本校は少なくとも2校の受験チャンスを与えて、2校合格したらどちらの学校を選ぶかは、受験生、保護者の判断に任せるべきだと主張しているのです。「真の複数受験」が可能になると、各私立高校もつかつかしておれません。より自分の学校に入学手続きをしてもらうために、今まで以上に自分の学校の魅力を高めねばなりません。生徒、保護者の期待に今まで以上に応えなければなりません。受験生、保護者は、私学の建学の精神、教育方針、特色、伝統進学実績等をよく考えて判断することになります。本校の特色は何か。それは一言で言う、「元気ある男子進学校」ということができます。「質実剛健」「明朗闊達」「文武両道」のもと道徳教育に力を注ぐ。保護者や生徒の期待に「入りたい大学」への

進路保障の徹底をするということです。他校から負けないということになります。これが私学間の切磋琢磨です。ひいてはこの努力が公立高校とも対峙できる力と発展するのです。要するに本校の主張は、「受験生に複数の受験機会を与えて、「入れる学校」から、「入りたい学校」を選びができるようにすること。私学間の護送船団的な考えを改めて、切磋琢磨することによって私学全体の教育力向上に結びつけること。の2点に集約されます。本校は私学協会福岡地区支部に対して、繰り返し、「前期合格すれば、後期受験できない」という但し書きを削除するように求め、それが受け入れられるならば、本校は私学協会の入試日に従うとしたのです。しかし、受け入れられませんでした。したがってやむなく本校は、前期1月31日(土)、後期2月16日(月)としたのです。

1月31日の前期入試は、募集定員520名に対して、志願者数は、2786名(昨年2026名と昨年より760名の増加となりました。この増加分が他校を併願したと見ています。「受験生、保護者は、本校の主張を歓迎し、支持した」と考えています。入学歩留まりの計算は困難を極めました。入試結果のデータを詳細に分析検討した結果、昨年より47点高い、293点(500点満点)としました。合格者は昨年より290名増やし、不合格者数も昨年より450名増えて、610名となりました。全体として昨年より学力水準の高い受験生が多く、質の高い生徒が多く入学するのではないかと期待しています。修猷館が独自の数学入試問題を検討し始め、修猷・福高等が学区制を撤廃し、福岡県全県下にするのも県教育委員会は検討しているという事でもあります。公立私立共に本格的な切磋琢磨の時代に入ったといえます。

同窓生の皆様のこれまで以上の御支援、御協力をお願い致します。

OHORI HIGH SCHOOL O.B NETWORK

目次

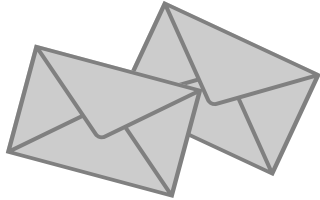
- ・本部からのお知らせ
- ・会報バックナンバー
- ・学校の近況報告
- ・大濠人紹介
- ・掲示板

福岡大学附属大濠高等学校同窓会ホームページ

<http://www.ohsa.jp/>

支部だより

(各支部からの報告)



関東支部
東海支部

関西支部
鶴友会

大濠つつじ会
福大医学部
粕屋・古賀支部

関東支部



関東支部の近況
田中隆弘(十九回卒)

関東支部の定期総会は、毎年十月の第三土曜日と云うことで、平成十五年度は、十月十八日に市ヶ谷の私学会館(アルカディア市ヶ谷)にて開催されました。今回で二十一回目となります。出席者は、会員31名・来賓四名の都合35名。ほかにコンパニオンさん3名と、余興の大道芸のお姉さんの紅四点が会場に華を添え、なごやかな雰囲気のもと議事は速やかに進行。そしてお楽しみ懇親会へ突入。

同窓生諸氏、和気藹々で歓談・飲食・旧交懐古の宴たけなわの最中、今年の余興は、南京玉すだれです。齊藤前支部長が芸人さんの指導のもとチャレンジするも、なかなか巧いきまません。おかげでプロの演技は凄いと妙なところで感心。恒例のジャンケン大会・お楽しみ福引き抽選会と会は進み、来年の再会を約して、校歌斉唱・万歳三唱で二次会はお開き。

場所を銀座の『北海』に移しての二次会は益々盛り上がり、終電を逃してお泊りの人も出たくらいでした。

関東支部では、毎月、概ね第三土曜日に銀座の『北海』で月例会を開催しています。

十一月は二十一日の定例会と二十九日には、フランスバンド部の顧問である浦川義信先生をお迎えして、歓迎会の一回の会合を持ちました。

十二月二十三日の忘年会には、バスケットボール部の監督である田中国明先生にウィンターカップへ全国大会・準優勝の試合前日というお忙しい中御出席いただきおおいに盛り上がりました。

東京での全国大会出場クラブに対しては関東支部として出来る限りの支援をしております。今年は、三月に柔道部が全国選手権・バレーボール部が春高バレーボール大会の出場で上京しますがその際も歓迎壮行会

を開催する予定です。

フランスバンド部の全国大会出場に当たっては、一回生の藤清美先輩の御尽力で本田技研工業狭山工場の体育館を練習会場に借りる事が出来ました。その下見と本番会場の埼玉スーパアリーナの確認には、私と幹事長の乗原順治君(二十三回生)が立ち会いしました。

たまたま中学生の部に出場する、北九州市立香月中学校の校長が私と同期(十九回生)の豊村完成君だった縁で、ホンダ体育館は、大濠高校到着まで香月中学校が使用しましたが、これも同窓会活動あればこそでしょう。

バスケットボール部のウィンターカップ大会の応援は、二回生の浅倉裕先輩が応援団長として、連日、同窓会の幟旗をかっついで東京体育館へ通われました。終了七秒前の奇跡の逆転ゴールで勝ち上がった準決勝二時は三点差まで詰め寄ったが惜しくも涙を吞んだ決勝戦。来年こそは残念会ではなく、祝勝会を開催したいものです。

取り留めの無い事を、あれやこれや書かせて頂きましたが、関東支部は田中恒徳支部長(二回生)のもと、一致団結して母校と在校生・同窓生の支援・親睦・協力に力を尽くしております。

毎月の月例会・花見会・旅行会等の詳細は、同窓会ホームページ内のイベント告知掲示板に随時掲載しておりますので、関東在住の方はもちろん、出張や旅行等で上京中の会員の方も、お時間の都合が付けば御出席下さい。

関東支部のみなさん



東海支部



東海支部活動状況

第9回東海支部総会は、11月15日(土)に名古屋のオムニバーホテルにて開催されました。

当日は、名古屋初登場となる家宇治校長先生、同窓会本部より本村副会長、関東支部より田中事務局長、関西支部より後藤支部長、中京福岡県人会の山崎会長の来賓をお迎えして盛大に催される予定でしたが、肝心の東海支部会員が9名参加と人数的には少々寂しい総会となりました。

第1部の総会は江崎支部長の開会の挨拶に始まり、活動報告、会計報告と会計監査と予定どおり進み、最後に江崎支部長の退任と大田新支部長の就任が可決され無事終了しました。第2部の懇親会は、4回卒の服部先輩の乾杯の首頭で幕をあげ、学校行事のため遅れて到着された家宇治校長先生の登壇で大いに盛り上がり、10月の総選挙で兵庫6区から初当選した大濠OBの市村浩郎君の話題で懇親会は最高潮に達しました。続いて東海支部の名物となつた4回卒の画家の南部柔心先輩の直筆の絵など多数の景品争奪お楽しみ抽選会になり、みごと南部先輩のリトグラフの大作を引き当てたのは13回卒の門田先輩でした。

懇親会は校歌斉唱と万歳三唱で幕を閉じ、名古屋の錦で二次会となり夜がふけるまで母校の話題で飲みかつ歌い東海支部の総会は続きました。

東海支部も来年は記念すべき10周年を迎えることになりました。新支部長以下決意も新たに支部の発展を心に誓った日でした。

東海支部のみなさん



関西支部



関西支部の最近の活動状況を報告致します。

京阪神の同窓生を対象とした関西支部は、昨年第二十三回の総会を大阪弥生会館で七月二十六日に行いました。家宇治校長先生をはじめ六名の来賓、関西支部会員一十七名の出席のもと、第一部「総会」が後藤支部長の挨拶で始まり、平成十四年度会務、会計等を報告、次年度行事計画も併せ、異議なく了承されました。第二部「懇親会」では、結城副幹事長の司会により、「来賓の紹介」、「来賓各位の挨拶を頂き、学校並びに同窓会の現状を事細かに知る事が出来、文武両道を目指す我が母校が確実に大いに発展しつつある事を実感し誇りに思う」と反面、関西支部会員が「一番望んでいる硬式野球部の甲子園出場を是非に！」と言った熱い思いが会場に漲り、今後の活躍を期待し、夢と希望を博多の地に託しました。その後恒例の抽選会が行われ、愉快に楽しい一時を共有し、盛会のうちに総会を終えました。

この総会には後藤支部長と同じ第九回卒で井上さん、中野さん又、結城副支部長と同じ第十八回卒で岡本さん、永洲さんが初めて参加されました。同窓会総会開催の案内も毎年数回通郵致致しておりますが、皆様お忙しいのが、多くの会員の参加が望めない現状です。この会報をご覧になられ、一度顔を見せて下さるか、と思われた方は遠慮なくご連絡下さい。(連絡先は、06 6452 4503 後藤支部長まで)

総会開催からヶ月後、いつもは阪神百貨店屋上で開くビアパーティが今年は阪神タイガースの躍進で百貨店屋上にある大型ビジョンを見ながら応援をするファンが多く、連日予約で満杯の状況な為、場所を変えてJR大阪駅北にあるヨドバシカメラ屋上での開催となり、久しぶりに隅田先輩を迎えワイワイガヤガヤと面白おかしく過ごしました。この様に関西支部は、新年会に始まり忘年会で締めくくるパターンが支部活動として定着し、その間に、お花見、お月見、紅葉と感性豊かな情緒溢れる交流の場となつて

おります。今後はもっと多彩な行事を取り入れ関西支部の活性化も図って参りたいと思っております。

景気が多少回復の兆しが見える中、同窓会会員各位がより一層元気になる様千ドルを送りますと共に、今まで以上に同窓会本部の支援ご協力をお願い致します。

(関西支部事務局 舛永記)

関西支部のみなさん



総会



▶ビアパーティ

鶴友会



鶴友会の近況

平成15年度の福岡市の職員で構成する鶴友会総会は、10月29日天神の中華料理店「平和楼」で開催しました。

総会では予算決算に続き役員選任で幹事長が田坂君から永野君に交代しました。

懇親会では学校から家宇治校長先生をはじめ幹部の皆様、同窓会からは山下副会長である大濠出身の市議会議員をお迎えして和やかに開催しました。特に今年4月の市

議会議員選挙で東区から立候補、当選されました山口剛司議員(24回卒)が顧問として就任していただいたことは会員にとっても頼もしい限りであります。

今回は40名ほどの出席を予定していましたが、衆議院選挙事務やダイエーホークス優勝パレードの準備などの緊急業務の関係で10名ほどの欠席者を出して少し寂しい懇親会となりましたが、2時間あまりのなかで会員相互の親睦と情報交換が十分に出来ました。

「来賓の家宇治校長先生のご挨拶で大濠の文武両道の活躍をお聞きし、我々会員は母校の活躍を頼もしく思い、改めて学校当局のご努力に感謝申し上げます。」

又、山下副会長からは50周年記念事業の報告があり、本当にご苦労様でしたと感謝申し上げます。

今、世の中は大きな変革の波の中にあります。福岡市ではDNA運動や事業評価など従来に増して公務員の意識改革、制度改革が進められています。我々鶴友会会員も各部署で頑張っていますが、市民の方々からまだまだ甘い指摘を受けている所でありました。

我々鶴友会役員一同は、母校の活躍に見習って会員相互の情報交換を密にして会員個人の地位の向上を願い、より良い同窓会となるように努力していきたいと思っております。

鶴友会会長 林 正治 (十二回卒)

鶴友会のみなさん



大濠つつじ会



大濠つつじ会総会

大濠つつじ会の総会が、9月27日(土)久留米グリーンホテルで行なわれました。今回の総会は、第14回目の総会です。大濠つつじ会総会は、開催時期や会場が例年決まっていますので、定着したという感じですが、総会の議長に支部長の竹間宗磨氏を選び議事が、すすめられました。事業報告、会計報告、会計監査、そして、新年度の事業計画、予算案の審議が行なわれました。

総会の後は懇親会です。開会にあたり校長先生よりあいさつがありました。学校の現状として、来年度の入試方法等について話を伺いました。懇親会は例年のように、ジャンケンゲームです。4、5名が壇上上がり、自己紹介を行ないます。そして、ジャンケンをし、ジャンケンで勝った人から、自分の好きなおみやげを選んでもらいます。懇親会の最後は、全員で校歌斉唱です。全員が肩を組んで校歌をうたいました。

久留米地区周辺の皆さん、大濠つつじ会の総会は例年9月下旬に久留米グリーンホテルで行なっています。ご多忙とは思いますが、友達誘いあって多数ご参加下さい。

(幹事長 豊福光明)

つつじ会のみなさん



福大医学部



「まごもな事」と「自由」

高木忠博(十五回卒)文責

母校は、入試制度について行政と中学校長会に対しdebate中です。新聞も紙面を割いて大きく報道しているようです。15歳は、昔「元服」と言う成人式の年齢ですが、現代人の成熟度はそこまで行きません。しかし、人生に大きな影響を及ぼす大切な出来事が、高校入試である事は間違いありません。従って選択の機会を増やす事は、至極当然の発想と申すのです。中学浪人を減らす為とか言う理由で選択肢を行政が狭めていくのは何処か「機会の平等」と言う自由主義の精神に反している様に思えます。今の日本社会は泣き寝入りや「無関心」と言う暴力が普通に罷り通る社会になってしまいました。その延長にこの問題はある様に思います。福岡県市の入試システムの不自然さを子供達や父兄の立場から堂々と指摘し、毅然と教育人として入試改革を単独でも断行された家宇治校長をはじめ母校教職員の英断に卒業生として強い誇りを感じます。日本の多様性を嫌う風土の中では非難も有るようですが、全く最初の発言から軸が振れることなく信念を持って実行に移した行動力に大濠らしさを感じます。子供の数が少なく豊かな社会であるならば、普通に考えるならば子供の選択肢は当然増える。と考えるのがまごもな考え方ではないでしょうか。しかし現在の入試システムは、少ない子供を教育業界の中でどの様に人数をsharingして行くか?と言う低い次元の発想が上位にランクされている様で福岡システムの怪しさを感じます。それも「法制化」と言う公的なテクニックを使って学校間の本来の質的競争を最小限にしながら人数確保だけを目的に達成すると言う含みを感じます。人間の歴史の中で「人に何かを提供しよう」と思い立った時には、提供を思い付いた人間側の間に「競争原理の必然」は自然に生まれた現象

だと考えられないでしょうか。最近のトレンド言葉で「競争原理」が云々ナンテ言うていますが「元々人類の進歩や文明と言うのは、人間が本能的に持つ「競争心」によって生み出された結果なのではないでしょうか。福岡市内の中等高等学校教育は、公立が主体でその下請けを私立がする。と言うのが暗黙の約束になっています。国家百年の計。と言われる「教育」に本家も下請けも無いと考えるのが「まごもな考え方」ではないでしょうか。「民主国家」と言う漢字がありますが意味は「民が主の国家」と書いてあります。しかし日本語の中では、「公私」「官民」と書きませんが、何故か?お上言葉がソコと分らないように先に表現されています。細かい事は、昔から言葉は文化と言います。言葉はその国の基本的思想をも表現してしまつたのです。民主国家の母国語訳ならば全部逆の「私公」「民官」になっていると思うのです。が微妙なバイアスが掛かっているようです。又日本では自由について、自由には義務と責任が伴う」と普通言います。何となく義務と責任が自由に従属する様な表現が市民権を得ています。しかし本場の欧米自由主義の解釈は、「義務と責任を果たせる人間が、初めて自由の意味を解釈でき獲得できる。」と解釈の上では言葉の主従が逆のように思われます。ですから英国パブリックスクールでは学校が出す生徒に厳しい「義務と責任」に対して実行出来た事を生徒が実感出来る様に又それを自分で履行出来る様になる事が、自分の将来の為になる事を生徒自身が理解出来る様に細かい芯の有る教育カリキュラムになっていると聞きます。これを何度も反復練習して人間の自然な素養になるまで体に染み込ませて行くそうです。授業料も当然高くなりますが話しを聞いていて流れが非常に自然な感じがします。米国は、日本と同じ自由の解釈方針で米国式教育カリキュラムを施行しましたがこの教育方法での荒廃を経験し20年くらい前から教育大改革を始められています。改革と言っても元に戻しただけです。しかし、その効果がクリントン政権時代の好景気を基礎で大きく支えた。と

の分析論文を読んだ事があります。思い返してみると大濠には昔から「この「義務と責任」については学問より特に厳しく(ピンタを含め)教職員が生徒に要求する雰囲気(学校の中に自然に有った様に思えます。その空気が大濠は硬派!といわれていた所以かもしれません。真の「自由」の解釈を男子教育の理念に持つて最も多感な時期の成長をシッカリと受け止め「義務と責任」から逃避しない腰の据わつた男子生徒を排出する私立進学教育機関として母校が堅実な「ONLY ONE」の成長をして行く事を期待し応援したいと思えます。

粕屋・古賀支部



連絡先 古賀市久保 547-110
松本定由 092-942-6165

私たち大濠高校粕屋地区古賀市支部は、平成12年9月2日(日)支部結成を致しました。松本定由支部長(第7回卒)以下206名の会員を擁しています。

平成11年11月18日(土)福岡市博多区八仙間に粕屋地区支部の発会式が挙行され、太田健策会長(粕屋町)以下1市7町の各支部を構成とするもので、古賀市支部の結成が急がれていたところです。

ここで、私たちが住んでいます古賀市のご紹介をさせていただきます。本市は、平成9年10月1日市制施行し、県下24番目の市が誕生いたしました。白砂青松緑にあふれた田園都市の反面、県下7番目の工業製品出荷高を誇る工業都市であります。

人口は、平成15年12月末で約57,000人。まだまだ人口増が見込まれているところです。

この急速な人の流入により、新興団地が増加し、新旧住民の融和がまちづくりの課題になっています。

そういったまちの事情とあわせるように、大濠高校出身者も急増し、名簿上は、200

名を超えておりますが、いままで市内での各卒業生間の交流もなされているか定ではありませんでした。

古賀市支部の結成を期に、今後は支部会員の各世代間の連絡を密にし、年1回は会を開催し、親睦を深め、もって母校のより一層の発展は勿論のこと古賀市の発展に寄与できたらと思えます。

今後とも同窓会本部役員の皆様、粕屋地区会長その他諸先輩方のご指導・鞭撻をよりしくお願いたします。

廣畑氏(1期生)母校で講演

平成六年一月七日、大濠高等学校の総合的な学習の授業で、高校第一期生廣畑富雄氏(九州大学名誉教授、福岡西口夕リクラブ会長)が講演を行った。

演題は「海外から見た日本 若い人たちに伝えたいこと」。同氏は本校卒業後、九州大学医学部、ハバード大学大学院で、癌の研究(予防)に従事。ハワイ大学教授、ハバード大学客員教授や国際連合高等科学専門官時代の海外経験を踏まえて、日本の若者がどのような針路を目指すべきかを高校全学年生徒に説いた。

特に、日本の常識が海外の認識とずれている事実の指摘、感謝の気持ち、礼儀、責任感、自然体験(創造性(イノベーション))の大切さを実例を交えて説明し、後輩諸君に伸びてほしい」と訴えた。生徒からの質問のつ、先生の夢は何ですか?に対しては、「このままでは日本は滅亡する。日本を変えるために尽力すること」と力強く結んだ。

今年度の総合学習では、昭和五十二年本校に留学生として在籍したマクホア氏(オーストラリア大使館駐日武官)も二月五日講演した。

特別会員交流会開催

特別会員の交流会が、平成15年10月25日(土)福岡国際ホールで午後六時より開催されました。

開会式では、安藤文六同窓会長より特別会員へのお礼の言葉とこれから、会員を増やしていきたいので、ご協力について、お願いをされました。また来賓の家宇治輝太郎校長先生からは、学校の現状や入試制度のあり方等につき、お話がありました。山下矩生同窓会副会長からは、特別会員「制度の経過報告」がなされました。

続きまして、特別記念講演会がありました。講師に博多湾開発(株)常勤監査役の山田紀男氏をお迎えして、わが国経済社会の新潮流とアイランドシティ構想についてうかがいました。

懇親会では、中国遼寧省出身で、福岡教育大学修士2年の朱俊華さんが漢民族・チベット族などの踊り・評劇の歌などを披露しました。
みなさん、ぜひ特別会員にご入会下さい。



首長、議員、同窓会役員との懇談会

10月3日(金)午後6時30分より首長、議員、同窓会役員、それと学校関係者の皆さんで、中央区天神の千太で懇談会を開催いたしました。地方選挙が終つて六ヶ月、議員さん方は、少し落ちつかれたらうという事で開催しました。安藤会長のあいさつ、家宇治校長先生のあいさつの後、市長、各議員さん、それぞれ自己紹介をしました。

今まで、市長、県会、市会、町会議員になられた同窓生が一堂に集まり、情報を交換する場がありませんでした。今回、同窓会役員と、ともに、学校の先生方にも集まっていたいただき、有意義な情報交換を行なうことができました。



首長・議員・同窓会役員

国会議員誕生

- 衆議院議員 -



平成15年11月に行なわれた衆議院議員の選挙において、卒業生より初めての国会議員が誕生しました。第30回卒業の市村浩郎氏です。

市村浩郎氏は、三年半前の衆議院選挙で初出馬し、健闘しましたが、わずかの差で当選できませんでした。今回は一度目の挑戦です。合言葉は、日本をジャブジャブ洗濯しよう。兵庫六区民主新人として二度目となる総選挙を闘いました。選挙戦では、39才の若さを前面に、若い力ではがらみのない新しい政治をつくりたいと訴えました。

母校を卒業後、一橋大学に進学。同校を卒業。そして、昭和63年4月に松下政経塾に入塾し、延べ3年間米国ヒュッパイクワシントンCにて研究調査活動を行ないました。平成5年3月、松下政経塾、政治専科を卒業。

その後、細川連立政権樹立後、政策審議会事務局長として活躍しました。そして、今回当選を果たすことができました。

なお、市村氏は、11月29日(土)当選お礼のあいさつで、母校、そして同窓会を訪ねられました。安藤会長はじめ、村上元会長、原元会長ほか、同窓会役員でおむかえしました。これからも、同窓生の熱い支援をお願い致します。



企画(準備)委員会 発足会

平成16年4月正式に発足する企画委員会の準備段階として、企画準備委員会を11月19日と12月10日の2回行ないました。

16回から45回の卒業生7名が集まり新年会と総会の内容について話し合いました。

様々な業種の経験と知識を活かし大勢の卒業生が集う催しを考えておりますが、未だ難航しております。

まだまだ知恵不足のところもあり、若手の意見を必要としています。是非、ご意見を頂きたく若手有志の参画をよろしくお願い致します。

企画準備委員会 委員長
金川英明(二十一回卒)

「家宇治先生の校長就任を祝う会」開催

去る十月三十日に、母校の第七代校長に、新たに就任されました家宇治先生の就任祝をハイアット・トリジェンシー福岡において、二十回生有志により、執り行いました。

我々二十回生は、家宇治先生が、母校に赴任されて、初めて担任を持ち、また初めて卒業させて頂いたという、思い出深い卒業回生であります。

当日は、出席者二十七名、卒業して三十年ぶりという人も多く、大いに盛り上がりました。さらに、この会を出発点として、二十回生の連帯を、もっともと深めようという意見が多く聞かれ、今年より定期的に、二十回生の集いを企画しようということになりました。

なお、第一回目の開催日は、平成十六年二月二十日金曜日でした。偶数月に毎回開催します。二十回生の皆さん、ぜひご参加下さい。

くわしい内容については、同窓会室まで、お問い合わせ下さい。
二十回生代表幹事 安河内俊光



筑陽学園高校サッカー一部監督、吉浦茂和氏(昭和51年卒業)の慰労会を開催

平成16年2月10日(火)、19時より、博多駅東の高橋明彦氏(23回生)経営のろばた焼「焔」にて、大濠高校昭和51年卒業(23回生)の有志二十数名が集まり、第82回全国高校サッカー選手権大会に初出場で全国準優勝の栄冠に導いた、筑陽学園高校サッカー一部監督、吉浦茂和氏(23回卒)を招いて、慰労会を行いました。東福岡高校、東海大五高校など全国レベルの強豪がひしめく福岡県で、苦節15年目の初出場での全国準優勝でありました。吉浦氏は、大濠高校 日本大学 フジタ工業(現、湘南ベルマーレ)で、サッカー選手(フォワード)として活躍。フジタ工業時代は天皇杯で準優勝しています。その後、平成元年より、筑陽学園高校サッカー部の監督(体育科教諭)となり、今回の快挙となりました。「練習は楽しく。競は厳しく。」がモットーだそうです。慰労会には、同期卒業の佐々木徹福岡県議会議員(東区)や中野正英大濠高校野球部監督なども駆け付けて、非常に盛り上がり、校歌の大合唱でお開きとなりました。



吉浦氏を囲んで23回生の有志

趣 意 書

母校部活等支援「特別会員」募集

3年前、創立五十周年を迎えた母校は次なる飛躍百周年をめざして新たなスタートを期しました。しかし前途には非常な困難が待ちかまえています。経済不況、少子化、情報通信網の変革、世代意識の変化など私学を取りまく環境は難しい状況となっています。伝統を保持することは現場の指導者の努力だけではもうどうしようもない状況となりつつあります。他の私学のさまざまな優遇制度(経済的な面)進学保証などに対して大濠高校は一步遅れ気味です。又この不況下、卒業目前に経済的困難で途中で学業を断念する生徒もいます。このような生徒を卒業まで見守ることも使命の一つではないでしょうか。同窓会はこのような状況のもと、新たな組織「特別メンバー会員」をつのります。異業種交流、親睦のために年に数回集まりメンバー相互の健全なる交流、発展の場を提供したいと思います。お納めいただいた資金は部活援助、奨学金に使います。どうぞ趣旨御賛同の上是非ご支援ご協力をお願い申し上げます。

記

- 年 会 費 1万円
- パーティ(交流会) 年数回
- 会 報 名 簿 の 発 行

平成 15 年 5 月 吉 日
 福大附属大濠高等学校同窓会
 会 長 安 藤 文 六
 担当副会長 山 下 矩 生

----- (切り取り線) -----

「特別会員」申込書			
氏 名	卒業年次	年	回
住 所 〒	TEL		FAX
	職業・勤務先		
TEL		FAX	
年会費一巻万円			

※皆様のお知り合い(3人~5人)くらい御勧誘ください。ご協力お願い申し上げます。

特別会員年会費・同窓会年会費

同窓会の大きいなる発展のために、よろしくご協力ください。

同窓会年会費 1,000円
 特別会員年会費 10,000円 (1口)

納入方法
 振替用紙(指定)を用いて
 最寄りの郵便局でお払込み下さい。

副会長 郡田紀久雄(財政委員長)

変更通知は必ず出してください!!

住所・氏名・勤務先等の変更について

現住所は、町名番地等変更の場合、すぐご連絡ください。
 読みにくい氏名・地名にはフリガナをつけてください。
 変更の箇所を朱書などでお示しください。整理上便利です。
 【ホームページアドレスhttp://www.ohsa.jp】
 同窓会へのご意見ご要望や同窓生の消息などの情報をお寄せ下さい。

第51回総会のご案内

福岡大学附属 大濠高等学校
 同窓会総会&懇親会

日 時 平成 16 年 5 月 15 日 (土)
 PM5:30 受付
 PM6:00 総会
 PM6:30 懇親会

会 場 ホテルニューオータニ博多3階
 福岡市中央区渡辺通1-1-2
 TEL092-714-1111

会 費 6,000円

楽しいアトラクションを企画しております。
 ぜひお楽しみ下さい

大濠の巨星、浅田先生逝く

大濠中学校・高等学校の元教諭、浅田和俊先生が平成十五年三月十二日逝去された。享年七九歳。

先生は、九州帝国大学卒業後一年間の宇美中学校教諭を経て、昭和十四年大濠中学校教諭に就任以来、平成七年までの四十四年間(二年間は筑紫中央高校在籍)、国語科の教員として硬式野球部の部長、監督、教務主事、校外でも福岡県高等学校野球連盟理事長等を歴任。また、退職後も、地元の少年野球チーム、および少年野球連盟の顧問として、中学生の指導に尽力された。後進の育成に、力の限り体を張って打ち込まれた人生であった。

生徒への愛情を基にする厳格で徹底した薫陶、強烈な個性は、さまざまに「伝説」として語られ、多くの卒業生の慕うところとなった。昭和五二年には、『古典要覧(初版本)』を刊行、ライフワークの『源氏物語注釈』は、未完に終わった。
 一頁冥福を祈ります。



編集後記

昨年5月は50周年記念総会が盛大に挙行されました。わたくし、その後なんか力が抜けまして、ボートと過ごしてありますうちに、世の中も学校もいろいろなことが起りました。今回の編集も若手に任せきりでほとんど何もせずじまい。記事にすべき事が多くありながら、またしても小生のタイタック。まことに申し訳ありません。脱稿も今日がギリギリの日でした。

(W)